



**あけまして
おめでとう
ございます**

幼稚園型認定こども園 和光幼稚園
令和2年1月8日(水)
主幹 三月田 智子

新年あけましておめでとうございます。

皆さん、お正月はいかがお過ごしだったでしょうか？おじいちゃん・おばあちゃんのお家へ帰省したり、旅行に行ったり、初詣に行ったり・・・きっと、楽しい新年を迎えられたことと思います。

さて、いよいよ令和元年度の締めくくり、3学期が始まりました。幼稚園では、これまでの1年間の成長を喜び、達成感や充実感を味わうとともに、その気持ちを持って、4月に迎える新しい環境への準備と意欲を高めるとても大切な時期でもあります。

『幼稚園』というのは、子どもたちが遊ぶところと思われがちですが、子どもたちは日々その遊びや各行事に取り組む中で、思いやりの心や考える力、仲間の大切さなど、これから生きていくうえで大切なことをたくさん学んでいます。

3学期はあっという間に終わってしまい、1月は「行く」・2月は「逃げる」・3月は「去る」と言われます。卒園・進級までの、そのあっという間の3か月間を、遊びをとおして、子どもたち一人一人の成長を感じ、互いに認め合いながら楽しく充実感を持って過ごすことができるように勤めてまいります。

今年も、どうぞ、よろしくお願ひいたします。



報恩講



1月16日は親鸞聖人のご命日で『報恩講』と言われるお勤めが執り行われます。

鹿児島別院では、この報恩講のお勤めを毎年12月16日に行い、その前には、竜谷学園の園児が集まって『報恩講園児参拝』も行われます。

この『報恩講』では、『お斎(おとき)』と呼ばれる精進料理が出されます。そして、そのお斎の材料は、親鸞聖人の布教における旅のお姿を表したものとされています。

しいたけは被っておられた笠、にんじんは足に滲んだ血、ごぼうは擦り減った杖、大根は聖人の白衣、昆布は聖人の黒衣、薄揚げは聖人の袈裟、里芋は野宿で枕にされた石です。

毎日、登園時と降園時に子どもたちが手を合わせて「しんらんさま おはようございます。」「しんらんさま さようなら。」とご挨拶しているあの親鸞聖人の像が布教における旅をしておられた時のお姿です。

親鸞聖人が雨の日も雪の日もみんなに幸せが来るようにと歩いて布教活動をされたおかげで、私たちはいまでもその教えをいただくことができます。

「しんらんさま ありがとう」の気持ちを持って、これからも、思いやりのある、全ての命あるものに慈しみの心を持てる『ほとけの子ども』でありたいと思います。

しんらんさま だいじょうぶ？

朝、お母さんと一緒に登園してきた年少組のAちゃん。いつもどおり、

Aちゃん:「ののさま おはようございます。しんらんさま おはようございます。」

と、上手にご挨拶ができました。が、その後、私に聞きたいことがあったようで・・・でも恥ずかしくて言えなかったので、代わりにお母様からAちゃんの質問を聞きました。

お母様:「しんらんさまは さむく ないのかな?」「あめのひは かさがあるのかな?」と言っていました。

・・・とのことでした。

この時、Aちゃんは親鸞様を身近に感じているのだと嬉しい気持ちになりました。

いつも親鸞さまは私たちの側に寄り添って、見守ってくださっています。

Aちゃんの親鸞様を気遣う優しい気持ちに、親鸞様もにっこりされて「ありがとう」とおっしゃっていたと思います。

1月16日は改めて、みんなで「しんらんさま ありがとう」とお参りをしましょうね!